



## 3年生学級活動の授業

昨日10日(月)の5時間目に、3年3組で学級活動の研究授業が行われました。「家庭学習をスキルアップして、将来のなりたい自分に近づこう」という勉強でした。今回の授業のめあては、「家庭学習のスキルアップのために、自分で頑張ることを決めよう」というものです。

授業のはじめに、家庭学習に関するアンケートを、保護者の皆さんと子供たちがそれぞれ回答したものを比べました。すると、子供たちはますます頑張っていると考えているようで、家庭学習の平均は「46分」と答えたのに対して、保護者の皆さんのわが子の家庭学習の平均時間は「34分」と、少々短く、その捉え方にはズレがありました。子供たちも「あれ!?!」「そうかあ、始めるまでに時間がかかるから。」とつぶやいていました。それから、そもそも家庭学習が何の役に立つのかを子供たちが考えていきました。子供たちは、「想像力が身に付く。」「大人になって役に立つから。」「早く終わると、自分の好きなことができる。」という声もあり、家庭学習の大切さを考えていきました。

その後、家庭学習のスキルアップのためにどうすればいいかを班ごとに考えていきました。少人数で知恵を出し合い、アイデアを出し合います。そこに6年生の家庭学習の様子を取材した子供たちから、家庭学習のヒントを学び合いました。6年生は「家に帰ってからすぐにやる。」「写真を使う」「ノートに十字架を書いて(4つに)分ける」などと答え、家庭学習に取り組むべきヒントを教えてくださいました。

そして子供たちは、自分のめあてを立てて、友達と共有し合い、実現可能な行動目標と練り上げていきました。めあてには「もっと知りたいことを調べて、自分の言葉で書いていく。」「十字かに分けてまとめていく。」「家に帰ってできるだけ早く取り組む。」など自分の家庭学習の課題から、それを改善していくめあて(行動目標)を立てることができました。学習の最後に6年生の子供が「家庭学習には『わくわく』する心が大切です。『わくわく』しながら家庭学習に取り組みましょう!」と励ましの声が映像で流れると、子供たちもうなずきながら聞き入っていました。

今回の学級活動の授業について、子供たちが帰った後に、全職員で授業研究会を行いました。職員一人一人が授業への疑問を出し合ったり、改善点を述べ合ったりしました。一つ一つの疑問点をみんなで考えることで、教師自身の学びとなり、力となりました。これからも全職員で、子供たちの生活改善に繋がる授業づくりを考えていこうと思います。

今回も、子供たちと職員とで帯西レッドの心を高める方法について、しっかり考えることができる研究授業となりました。今回の授業は3年部でも共通実践を行い、3年生全員の心が育ちました。3年3組の皆さん、貴重な学級活動の授業を共有させていただき、ありがとうございました。

